

宮古市市民憲章

宮古市、田老町、新里村が一つとなり、2005年6月、新しい宮古市が誕生しました。

その後、2010年1月に川井村が新しいまちづくりに加わり、さらなる発展に向けて共に歩み始めました。

宮古市は、本州最東端に位置し、太平洋から昇る太陽を迎え、緑深き森から流れる川が大海にそそぐまち、人びとのきずなを大切にするまちです。

宮古 みんなが やすらぐ このまち みやこ

わたくし
私 たちは、このまちを慈しみ、森、川、海と人々が調和する安らぎのまちをめざし、ここに市民憲章を定めます。

こころ育む美しい森

自然や環境を大切に、美しいまちをつくりましょう。

いのち育む清らかな川

健康で良く学び、いきいきとしたまちをつくりましょう。

めぐみ育む豊かな海

働くことに喜びをもち、力を合わせ住み良いまちをつくりましょう。

サーモンランド宣言

宮古市は、鮭が生まれ、旅立ち、回帰する海や川、それを育む森がある自然豊かなまちです。

歴史的にも、鮭漁の起源は古く、また伝説、古文書により、鮭とひととの出会い、かかわりが伝えられています。鮭を育てきた自然と人々の歴史とその心、それらを深く理解し、大切にする市民が住むまち、これが本市宮古です。

私たちは、本市の将来像「森・川・海とひとが調和し共生する安らぎのまち」を基調としながら、鮭のごとく力強く活動するまち、心の豊かさやゆとりを実感できるまちを築くことを決意し、本市全域を『サーモンランド』と呼ぶことを宣言します。



ごあいさつ



宮古市は、都市の将来像に「『森・川・海』とひとが調和し共生する安らぎのまち」を掲げ、令和2年3月に宮古市総合計画基本構想及び前期基本計画を策定いたしました。

前期基本計画では、人口減少抑制のため、宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に取り組んで参りました。

人口減少は、全国的に想定を超えるペースで、急激に進行しています。本市においても産業・医療・福祉・教育など様々な分野へ大きな影響が及ぶことが予想されます。さらなる人口減少への対応が、今後のまちづくりの課題となっています。

後期基本計画では、人口ビジョンの見直しを図り、市民の皆様と、現状・課題の共有を行いながら、都市の将来像である「『森・川・海』とひとが調和し共生する安らぎのまち」の実現のために、参画と協働によるまちづくりを進めてまいります。

結びに、計画策定にあたりご審議をいただきました宮古市総合計画審議会委員の皆様、宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会委員の皆様、市民意識調査やパブリックコメントなどで貴重なご意見、ご提言をお寄せいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

令和7年3月

宮古市長 山 本 正 徳

